

建設産業情報

2015年12月分

在外公館名 在ホーチミン日本国総領事館

記入日 2016年1月18日

1. 現地の建設・不動産市場に係る経済情報

資料名：ホーチミン市統計局作成「2015年12ヶ月間における社会経済状況」（ページ4と5）

URL：

http://www.pso.hochiminhcity.gov.vn/c/document_library/get_file?uuid=bc338a14-996c-497a-a5f6-12d903d5c5b7&groupId=18

●2015年12ヶ月間の同市における建設投資総額は285兆1,600億ドン強で、前年同期比で11.7%増加である。このうち、同市の予算からの支出額は20兆8千億ドン強で、前年同期比で6.9%増加であり、年間計画比で87.3%の目標達成である。

●2015年11月末時点で同市において付与した住宅建設承認書及び住宅修理承認書は49,944枚で、総床面積が約991万7千平方メートルである。このうち、住宅建設承認書は49,240枚で、総床面積が約985万平方メートルである。住宅修理承認書は704枚で、総床面積が約6万7千平方メートルである。承認数は前年同期に比べ11.1%上がり、床面積は前年同期に比べ19.5%上がった。

2. 建設業制度、入札契約制度、不動産業制度の改正動向

該当なし

3. 報道情報

	タイトル、概要	日付/掲載紙
1	都市鉄道1号線運行管理会社を設立 ホーチミン市人民委員会により承認され、12月4日においてホーチミン市都市鉄道1号線一人有限会社の設立の発表式典が開催された。同社は、2014年～2017年における授権資本金が140億ドン、2018年以降における授権資本金が約170億ドンの都市鉄道1号線運行管理を行う国営企業である。	2015/12/4 サイゴン解放紙・第2面 【越語】
2	ホーチミン市経済特区：土地賃貸期間を99年間に延長するよう提案 12月3日、ホーチミン市開発研究所（HIDS）はホーチミン市人民委員会に同市の経済特区の詳細な設立提案を提出した。ホーチミン市の7区、ニャーベー県、ビンチャン県、	2015/12/4 青年紙・第3面 【越語】

	カンゾー県における経済特区は、総面積が約 888 平方キロメートル (7 区 : 約 35 平方キロメートル、ニャーベー県 : 約 100 平方キロメートル、ビンチャン県 : 約 48 平方キロメートル、カンゾー県 : 約 704 平方キロメートル)、総人口が約 68 万 5 千人である。投資を誘致するべく、HIDS は同市人民委員会に対し土地賃貸期間を 99 年間に延長するよう建議した。	
3	<p>ロンタイン国際空港案件:2016年のテト前に入札募集を行う予定</p> <p>米国、日本、ヨーロッパの多くの企業はロンタイン国際空港の実現可能性調査に関する入札パッケージへの参加希望を表明している。入札募集は準備が完了し、早期に交通運輸省に承認され、2016年のテト前に入札募集が行われる予定である。</p>	<p>2015/12/16</p> <p>サイゴン解放紙・第2面</p> <p>【越語】</p>
4	<p>原子力発電所についてのセミナー</p> <p>12月16日午前、カインホア省ニャチャン市において「世界における原子力発電所の開発及びベトナムにおける原子力発電所の準備業務」セミナーが開催された。計画上、ニントゥアン省において、原子力発電所がニンハイ県ヴィンハイ村とトゥアンナム県フォックディン村に建設される予定である。</p>	<p>2015/12/17</p> <p>サイゴン解放紙・第6面</p> <p>【越語】</p>
5	<p>都市鉄道1号線(ベンタイン・スオイティエン間)は2020年に運行される見込み</p> <p>都市鉄道1号線(ベンタイン・スオイティエン間)の進捗が遅れ、2020年に運行されない可能性が高いという見解に対し、ホーチミン市都市鉄道管理局レ・カック・フィン副局長は、都市鉄道1号線は同市のインフラ整備にとって非常に重要な案件なので、同市は同件の進捗を加速するよう努力し、2020年の運行を目指すと発言した。</p>	<p>2015/12/24</p> <p>サイゴン解放紙・第3面</p> <p>【越語】</p>
6	<p>ベトナム不動産はシンガポールの投資を誘致</p> <p>外国投資庁によると、アセアン各国の外国直接投資の中で不動産への投資が30%以上を占めている。このうち、投資総額の約60%(100億米ドル)がシンガポールからであり、投資案件総数の約80%を占めている。</p>	<p>2015/12/30</p> <p>青年紙・第12面</p> <p>【越語】</p>

4. その他我が国の建設産業界にとって参考となりうる最近の動向(報道情報以外)

<p>カントー市及び韓国はハイテク都市建設に関する協力を実施</p> <p>12月7日、カントー市において、ヴォ・ティ・ホン・アイン同市人民委員会副委員長は Kim Hak Min Soon Chun Hyang 大学副学長一行を歓迎した。同日、両者間における</p>

ハイテク都市建設分野に関する協力覚書の署名式が開催された。アイン副委員長は、本件が早期に実施されるよう同市が積極的に支援すると確約した。

日付：2015年12月8日

掲載紙：建設省ホームページ

記事の詳細は次の URL（越語）で閲覧可能：

<http://www.xaydung.gov.vn/vi/web/guest/trang-chi-tiet/-/tin-chi-tiet/Z2jG/64/282262/can-tho-hop-tac-han-quoc-xay-dung-mo-hinh-thanh-pho-thong-minh.html>

BIDV はベカメックス IDC のビンズオン省インフラ開発の支援へ 15 兆ドンを融資

12月11日、ビンズオン省においてベトナム投資開発銀行（BIDV）と工業投資・発展総会社（ベカメックス IDC）との全面協力についての署名式が開催された。合意の上、BIDV はベカメックス社により実施される、ビンズオン省新都市、バウ・バン工業団地、教育・医療分野における案件といった多くの案件の実施を支援するために、15兆ドンを融資する。

日付：2015年12月14日

掲載紙：建設省ホームページ

記事の詳細は次の URL（越語）で閲覧可能：

<http://www.xaydung.gov.vn/vi/web/guest/trang-chi-tiet/-/tin-chi-tiet/Z2jG/64/288714/bidv-cap-15.000-ty-dong-cho-becamex-idc-phan-trien-ha-tang-binh-duong.html>

ベトナム初の不動産投資基金

Techcom ベトナム REIT 不動産投資基金 (TCREIT) は Ky Thuong 基金管理有限会社 (Techcom Capital) により販売開始された。本基金はベトナム初の不動産投資基金であり、最初の授権資本金は 500 億ドンである。

日付：2015年12月16日

掲載紙：建設省ホームページ

記事の詳細は次の URL（越語）で閲覧可能：

<http://www.moc.gov.vn/web/guest/trang-chi-tiet/-/tin-chi-tiet/Z2jG/64/288892/quy-dau-tu-bat-dong-san-dau-tien-tai-viet-nam-chinh-thuc-ra.html>